



▲▼田牛沖で3キロ級のワラサが登場



▲この時期のメチダイは脂が乗って食味よし



▲最初の流して上がった1キロ級のマダイ



★軟調竿の曲がりを楽しむのもコマセダイのだいご味の一つ



◀当日の釣り場は須崎～田牛沖、指示ダナは海面から60メートル前後



▲こここのところスマが船中1～2本釣れている



▲1キロ級のマハタや小ぶりのアオハタも上がった

今冬は各地でマダイの様がいい。ここ南伊豆のコマセダイもいっとなく好調で、取材した下田須崎港・大黒屋では1キロ級主体に2～3キロ級を交えてトップで3～5枚前後釣れている。
取材日は好調の谷間に当たり1キロ級にとどまったものの、日によっては5キロオーバーの大ダイも上がっているからドラッグ調節はぬかりなくポイントによっては3キロ前後のワラサも回遊しているのので4号より細いハリスは使わないほうが賢明だろう。イサキやハタ類ほか、おいしいゲストも多彩だ。
(詳細は58ページ参照)

南伊豆下田須崎港出船 ムーチングロッドが弧を描く 今冬の南伊豆は大ダイの チャンスもあり!

●撮影 訓覇啓雄



▲イサキはコンスタントに交じる



◎南伊豆下田須崎港・大黒屋 土屋 裕司船長